

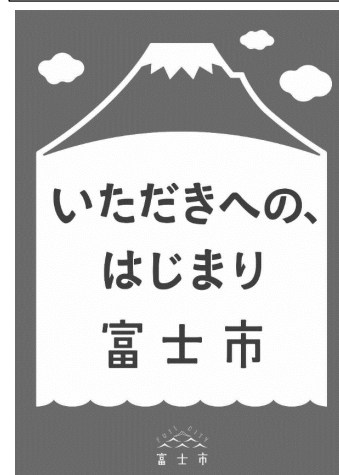
■本市の2つの取組について伺います。

富士市ブランドメッセージと地域への愛着度

問1 富士市ブランドメッセージ（右記）

「いただきへの、はじまり 富士市」を知っていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

数値は回答の比率（%）
n は回答者数（人）



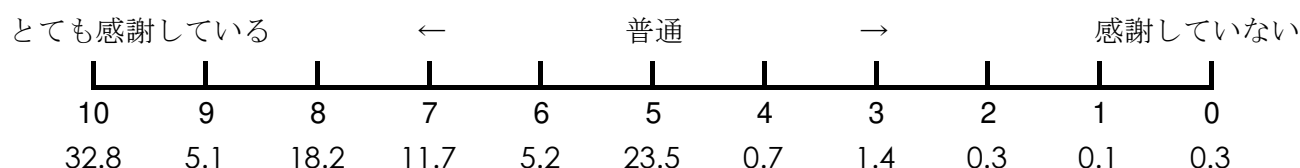
n=1,448

- 1 メッセージに込められた意味まで知っている 9.7
- 2 意味は分からないが、
見たり聞いたりしたことがあり知っている 58.1
- 3 知らない 26.0

無回答 6.3

問2 あなたは、地域（まち）のために活動している人に対し、どの程度の気持ちで感謝していますか。
次の気持ちを表した数字（10 から 0 まで）から1つだけ選んで○をつけてください。

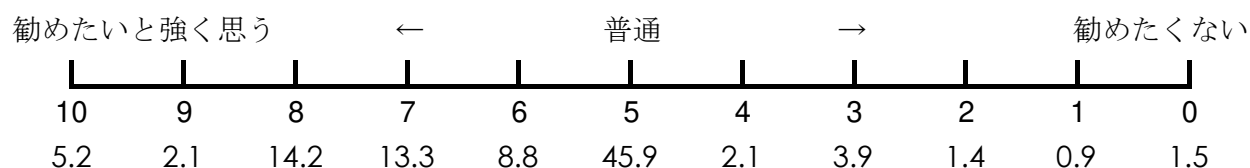
n=1,448



無回答 0.7

問3 あなたは、地域（まち）の魅力を、どの程度の気持ちで友人にお勧めしたいと思いますか。
次の気持ちを表した数字（10 から 0 まで）から1つだけ選んで○をつけてください。

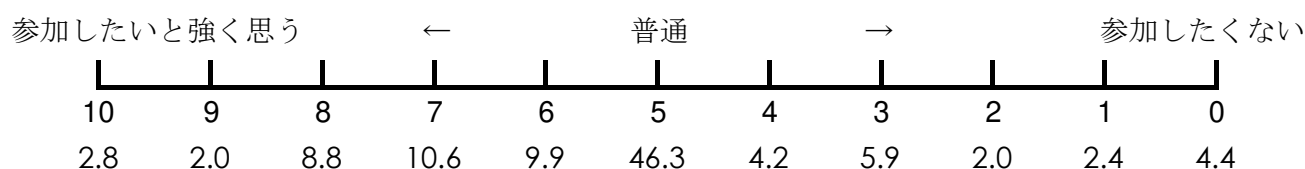
n=1,448



無回答 0.9

問4 あなたは、地域（まち）をよくする活動に、どの程度の気持ちで参加したいと思いますか。
次の気持ちを表した数字（10 から 0 まで）から1つだけ選んで○をつけてください。

n=1,448



無回答 0.8

「富士市デジタル田園都市総合戦略」の「満足度」

本市では、令和4年度からスタートした「第六次富士市総合計画前期基本計画」の重点戦略として、「第2期富士市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地域の好循環を創出するための取組を進めてきました。

第2期総合戦略は、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえ、人口減少や少子高齢化の進行に歯止めをかけ、デジタルを活用した持続的で多様性のあるまちづくりを進めていくため、令和5年 11 月、「富士市デジタル田園都市総合戦略」に改訂しました。「富士市デジタル田園都市総合戦略」では、5つの戦略を位置づけ、戦略ごとに市民満足度を指標としています。

【富士市デジタル田園都市総合戦略】

戦略1 災害等への対策を強化し、安全・安心なまちづくり
（指標）地震や風水害などの災害に対する危機管理体制が充実していると思う市民の割合
戦略2 活力ある産業を集積し、やりがいを感じるしごとづくり
（指標）仕事と生活の調和が取れていると感じる市民の割合
戦略3 結婚・出産・子育て等の希望を実現できる社会づくり
（指標）安心して子どもを生み育てる環境が充実していると思う市民の割合
戦略4 地域と拠点がつながり、快適に暮らせる環境づくり
（指標）まちなかが整備され、便利で快適な都市づくりができていると思う市民の割合
戦略5 人を呼び込み、にぎわいと交流を生む魅力づくり
（指標）市内に知人を案内し自慢したい場所があると思う市民の割合

問5 次の各項目の満足度について、あなたの気持ちに近いものを 1つずつ 選んで○をつけてください。n=1,448

項 目		満足度				無回答
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	
1	富士市は、地震や風水害などの災害に対する危機管理体制が充実していると思いますか。	9.0	52.0	31.7	5.0	2.3
2	あなた自身、またはあなたの家族は、仕事と生活の調和が取れていると思いますか。	22.2	49.8	22.4	3.9	1.7
3	富士市は、安心して子どもを生み育てる環境が充実していると思いますか。	9.2	52.3	31.5	5.2	1.8
4	富士市は、まちなかが整備され、便利で快適な都市づくりができていると思いますか。	5.3	31.5	46.3	15.8	1.0
5	富士市内には、知人を案内し、自慢したい場所があると思いますか。	9.6	35.1	41.4	12.6	1.2

I 「富士市に住んで私はこう思う～第六次富士市総合計画の評価に係る市民意識調査～」

富士市は現在、最上位計画である「第六次富士市総合計画」に基づき、各施策を進めています。総合計画は、長期的な視点を踏まえた 10 年間の基本構想と、社会経済情勢の変化に的確に対応できるよう 10 年間を前期・後期の 5 年ごとに分けた基本計画、そして、毎年度見直しを実施する実施計画の 3 層で構成しています。

この度、令和 9 年度から令和 13 年度までを計画期間とする「第六次富士市総合計画後期基本計画」の策定に当たり、基礎資料とするとともに、前期基本計画の評価を行うため、広く市民の皆様にご意見を伺います。

■現状と日常生活について伺います。

問 6 あなたにとって、富士市は住みやすい市ですか。次の中からあなたのお気持ちに近いものを 1 つだけ選んで○をつけてください。n=1,448

1 とても住みやすい 7.9	2 住みやすい 55.9	3 どちらともいえない 28.7
4 住みにくい 5.7	5 とても住みにくい 1.3	無回答 0.3

問 7 今後も富士市に住みたいと思いますか。次の中からあなたのお気持ちに近いものを 1 つだけ選んで○をつけてください。n=1,448

1 今後も住みたいと思う 70.0	⇒問 7-1 へ	
2 このままでは住みたいとは思わない 11.0	⇒問 7-2 へ	
3 どちらともいえない 17.6	⇒問 8 へ	無回答 1.4

問7で「1 今後も住みたいと思う」と答えた人に伺います。

問7-1 今後も住みたいと思う理由は何ですか。次の中から3つ以内で選んで○をつけてください。

n=1,013

1 気候が温暖で自然に恵まれているから 70.7	2 交通の便が良いから 18.8
3 文化施設や教育施設などの公共施設が整備されているから 3.9	
4 道路・公園・河川・下水道などの都市基盤整備が進んでいるから 5.7	
5 医療や保健、福祉施設が整備されているから 7.0	6 音楽や美術などの文化活動が活発だから 0.8
7 商業施設が多く、買い物が便利だから 12.5	8 子育てをしやすいから 3.1
9 地域活動が活発で、地域の人たちと交流する機会が多いから 0.9	
10 地震や火災、風水害などの災害への対策が十分だから 1.5	
11 交通事故や犯罪などが少ないから 8.7	12 働く場所が多いから 3.5
13 大気汚染や騒音など公害への対策が十分だから 0.5	
14 安全でおいしい水と、地元の食べ物があるから 32.6	15 隣近所との付き合いが良好だから 14.5
16 地域に愛着や誇りを持てるから 11.6	17 住んでいる家に満足しているから 36.2
18 老後も安心して暮らせると感じられるから 11.9	
19 その他 5.4	無回答 0.0

⇒問8へお進みください。

問7で「2 このままでは住みたいとは思わない」と答えた人に伺います。

問7-2 このままでは住みたいとは思わない理由は何ですか。次の中から3つ以内で選んで○をつけてください。n=160

1 自然が少ないから 1.3	2 交通の便が悪いから 71.3
3 文化施設や教育施設などの公共施設が整備されていないから 13.1	
4 道路・公園・河川・下水道など都市基盤整備が遅れているから 16.9	
5 医療や保健、福祉施設が整備されていないから 20.0	6 音楽や美術などの文化活動が乏しいから 6.3
7 商業施設が少なく、買い物が不便だから 37.5	8 子育てをしにくいから 10.0
9 地域活動があまりなく、地域の人たちと交流する機会が少ないから 5.0	
10 地震や火災、風水害などの災害への対策が不十分だから 16.3	
11 交通事故や犯罪などが多いから 1.9	12 働く場所が少ないから 13.1
13 大気汚染や騒音など公害への対策が不十分だから 15.0	
14 水や食べ物などが不安だから 3.1	15 隣近所との付き合いが難しいから 5.6
16 地域に愛着や誇りを持ってないから 5.6	17 住んでいる家に不満を持っているから 3.8
18 老後の生活に不安を感じるから 25.0	
19 その他 2.5	無回答 0.0

⇒問8へお進みください。

■総合計画の各施策の「満足度」「重要度」について伺います。

問 8 「第六次富士市総合計画」では、めざす都市像「富士山とともに 輝く未来を拓くまち ふじ」を実現するため、7つの基本目標、27の政策体系を示し、各政策の市民満足度を成果指標の一つに位置づけています。次の各政策について、「現在の富士市についてどう感じているか」、あなたのお気持ちに近いものに1つずつ○をつけてください。n=1,448

※取組の概要や参考指標の一つは下表内に記載しています。詳しい内容は、以下の参考 URL の施策評価に記載していますので、よろしければご覧ください。

<参考 URL><https://www.city.fuji.shizuoka.jp/1005050000/p005054.html>



<二次元コード>

基本目標 1	安心できる暮らしを守るまち
基本目標 2	次代を担うひとを育むまち
基本目標 3	支え合い健やかに過ごせるまち
基本目標 4	豊かな環境を保ち継承するまち
基本目標 5	活力を創り高めるまち
基本目標 6	魅力を活かし人と人を繋ぐまち
基本目標 7	快適な暮らしを続けられるまち

	政 策	満足度					無回答
		そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	
基本目標 1	①地震や風水害などへの備えが充実した 災害に強いまち ※地震対策の強化、豪雨等対策の強化などに取り組み、災害時協力機関との連携実施状況は、76.0% (R3) から94.7% (R5) に増加しています。	5.7	38.4	36.8	11.9	3.6	3.5
	②迅速で的確な消防・救急・救助体制が備わったまち ※消防体制の強化、救急・救助活動の充実などに取り組み、心肺機能停止傷病者の1か月後生存率(救命率)は、2.4% (R3) から9.3% (R5) に増加しています。	12.3	45.9	29.6	6.8	1.9	3.5
	③犯罪や交通事故のない 安心して生活できるまち ※防犯まちづくりの強化、交通安全対策の推進などに取り組み、消費生活相談における被害額は、93万円/人 (R3) から70万2千円/人 (R5) に減少しています。	6.1	39.0	37.6	10.4	3.7	3.2
	④市民一人ひとりの個性が活かされ活躍できるまち ※地区まちづくり活動、男女共同参画、多文化共生の推進に取り組み、まちづくり活動参加者数は、37万6,976人 (R3) から53万6,827人 (R5) に増加しています。	2.6	25.4	49.5	14.1	5.0	3.5

	政 策	満足度					無回答
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	
基本目標2	⑤安心して子どもを生み 健やかに育てられるまち ※切れ目のない子育て支援の充実、子育て環境の整備、子どもと家族の健康の増進などに取り組み、子育てが楽しいと思える保護者の割合は、88.6% (R3) から89.1% (R5) に増加しています。	6.8	36.7	38.5	11.7	2.7	3.7
	⑥すべての子どもや若者が夢や希望を持ち 大切にされるまち ※子どもの健やかな成長への支援、若者の希望をかなえる支援、青少年健全育成の推進に取り組み、希望出生率は、1.60 (R3) から1.65 (R5) に増加しています。	3.2	24.2	47.0	16.5	5.9	3.2
	⑦すべての子どもが学びを楽しむことができるまち ※自立した児童生徒の育成、教育の質の向上及び環境整備、魅力ある市立高校づくりなどに取り組み、市や社会に貢献しようとする気持ちを持つようになった市立高校生の割合は、86.0% (R3) から87.1% (R5) に増加しています。	4.6	31.3	44.7	12.7	3.2	3.5
	⑧生涯にわたり学び続け 心豊かに暮らせるまち ※多様な学びの場の充実、文化財保存・活用の推進に取り組み、文化財を題材とした講座や博物館への入込客数は、5万8,166人 (R3) から5万9,403人 (R5) に増加しています。	5.0	28.0	46.0	14.0	3.8	3.1
	⑨だれもが いつでも いつまでも スポーツと文化に親しめるまち ※生涯スポーツの推進、文化芸術活動の振興、スポーツ・文化環境の充実に取り組み、スポーツ・文化施設の設備に対する高評価者の割合は、77.6% (R3) から81.3% (R5) に増加しています。	5.9	34.4	40.5	12.6	3.3	3.2
基本目標3	⑩一人ひとりが健康づくりや疾病予防に取り組むまち ※健康づくりの推進、疾病予防の推進に取り組み、40～69歳の大腸がん検診受診率は、5.8% (R3) から5.5% (R5) に減少しています。	5.3	32.7	44.8	11.6	2.6	3.0
	⑪安定した医療提供体制のもと 適切な医療が受けられるまち ※地域完結型医療の推進、医療人材の育成・確保に取り組み、市立中央病院の患者紹介率は、70.3% (R3) から77.0% (R5) に増加しています。	8.3	34.3	34.7	14.0	6.0	2.8
	⑫住み慣れた地域で 一人ひとりの状態に合った支援を受けられるまち ※高齢者支援・障害福祉の推進、生活困窮者等支援の充実に取り組み、介護認定を必要としない高齢者の割合は、88.63% (R3) から88.45% (R5) に減少しています。	4.4	28.7	45.0	14.1	4.6	3.1
	⑬地域で支え合い 助け合い 生きがいを持って暮らせるまち ※地域で支え合い助け合う体制の強化、地域交流の推進、ユニバーサル就労の推進に取り組み、ユニバーサル就労支援センターにおける新規就労者数は、124人 (R3) から147人 (R5) に増加しています。	3.6	28.9	46.5	13.1	4.6	3.2
基本目標4	⑭地球にやさしい暮らしに みんなで取り組むまち ※気候変動対策の推進、環境教育・環境活動の推進に取り組み、温室効果ガス排出量は、H25年度比で16.97% (R1実績、R5公表) 削減しています。	3.8	30.2	47.5	10.5	4.7	3.2
	⑮多様な生物と生態系 良好な生活環境を保全していくまち ※自然環境の保全・再生、良好な生活環境の確保に取り組み、富士市生物多様性サポーター登録制度登録件数は、38件 (R3) から70件 (R5) に増加しています。	4.6	29.8	48.3	10.2	3.3	3.8
	⑯資源を有効に活用する できる限りごみを出さないまち ※廃棄物の3Rの推進、廃棄物適正処理の推進に取り組み、ごみの総排出量は、7万3,319t (R3) から6万9,243t (R5) に減少しています。	9.3	41.3	34.4	9.4	2.6	3.0
	⑰将来にわたり 良好な水環境を育むまち ※安全安心な水道水の持続的な供給、生活排水対策の推進などに取り組み、水道主要管路耐震化率は、46.2% (R3) から54.7% (R5) に増加しています。	14.0	46.3	28.9	6.1	1.9	2.8

	政 策	満足度					無回答
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	
基本目標5	⑱新産業と既存産業の融合により ものづくり産業が持続的に発展するまち ※新産業・成長産業への参入支援、既存産業の活性化支援、企業立地の促進に取り組み、製造品出荷額等は、1兆4,250億円（R1実績、R3公表）から1兆4,641億円（R3実績、R5公表）に増加しています。	6.2	31.8	43.4	11.5	3.3	3.7
	⑲ヒト・モノ・コトがつながり にぎわいがあふれるまち ※まちなかのにぎわい創出支援、商業振興によるまちの活性化、港湾の利活用推進に取り組み、商店街の表通り1階の空き店舗の割合は、20.4%(R3)から20.0%(R5)に減少しています。	3.0	18.8	44.0	22.8	8.0	3.5
	⑳富士山の豊かな恵みを活かし 活力ある農林水産業が継続するまち ※地場産品の生産支援と付加価値の向上、生産基盤の保全・拡充、担い手の確保・育成に取り組み、荒廃農地の解消面積は、25.07a（R3）から188.91a（R5）に増加しています。	6.7	32.9	41.0	11.5	4.0	3.8
	㉑中小企業等が地域経済の原動力となり だれもが活躍し続けられるまち ※経営基盤の強化及び起業・創業支援、雇用及び就労への支援、労働環境の充実に取り組み、地域産業支援センターの支援により成果の上がった事業所数は、R3からR5にかけて、46社増加しています。	4.9	27.7	45.2	13.6	4.8	3.8
	㉒「富士山」の魅力が最大限に活用され 観光交流が進むまち ※富士山活用推進、観光資源活用、観光インフラ整備に取り組み、観光交流客数は、523万9千人（R3）から672万9千人（R5）に増加しています。	8.4	32.5	30.7	17.2	7.6	3.6
基本目標6	㉓魅力や愛着を感じ だれもが住みたくなるまち ※まちのブランド強化及び愛着と誇りの醸成、移住定住の促進に取り組み、移住相談対応から移住につながった人数は、95人（R3）から354人（R5）に増加しています。	7.3	32.0	39.4	12.5	5.2	3.7
	㉔国内外から人々が集い 多彩な交流が生まれるまち ※スポーツ交流の推進、文化芸術を通じた交流の創出、国際交流の促進に取り組み、市に補助申請のあったスポーツ大会・合宿参加者宿泊総数は、3,404泊（R3）から1万7,298泊（R5）に増加しています。	4.9	30.3	40.4	15.8	5.1	3.5
基本目標7	㉕地域特性に応じた 魅力あふれる暮らしやすいまち ※土地利用の適正化、魅力あふれるまちなかの形成などに取り組み、富士駅北口周辺まちなか来街者数は、8,492人（R3）から8,644人（R5）に増加しています。	4.0	21.1	47.4	17.7	6.0	3.8
	㉖だれもが安全に円滑な移動ができる快適なまち ※公共交通の充実、道路ネットワークの構築、メンテナンスの推進などに取り組み、公共交通利用者数は、4,321人/日（R3）から4,603人/日（R5）に増加しています。	4.1	21.1	37.5	22.2	11.8	3.3
	㉗富士山が映える景観のもと 花と緑があふれ だれもが安心して住めるまち ※美しい景観保全、花と緑の環境創出、安心快適な住宅確保などに取り組み、市民一人当たりの都市公園面積は、8.63㎡（R3）から8.77㎡（R5）に増加しています。	13.0	43.1	28.4	9.1	3.2	3.2

問9 今後、富士市が重点的に取り組むべき分野を把握し、「第六次富士市総合計画後期基本計画」策定の参考とするため、各政策の重要度についてお聞きします。あなたのお気持ちに近いものに1つずつ○をつけてください。n=1,448

	政 策	重要度					無回答
		そう思う	ややそう思う	どちらでもない	そうあまり思わない	そう思わない	
基本目標1	①地震や風水害などへの備えが充実した 災害に強いまち	33.4	29.2	24.1	8.5	2.6	2.3
	②迅速で的確な消防・救急・救助体制が備わったまち	34.3	36.9	21.0	3.7	1.9	2.3
	③犯罪や交通事故のない 安心して生活できるまち	32.5	32.8	23.3	5.9	2.8	2.6
	④市民一人ひとりの個性が活かされ活躍できるまち	13.5	27.1	41.6	11.5	3.2	3.1
基本目標2	⑤安心して子どもを生み 健やかに育てられるまち	32.4	29.9	26.2	6.4	2.7	2.4
	⑥すべての子どもや若者が夢や希望を持ち 大切にされるまち	27.8	27.1	30.6	8.6	3.5	2.4
	⑦すべての子どもが学びを楽しむことができるまち	28.5	29.6	29.8	6.8	2.6	2.7
	⑧生涯にわたり学び続け 心豊かに暮らせるまち	24.0	30.2	33.1	7.7	2.7	2.3
	⑨だれもが いつでも いつまでも スポーツと文化に親しめるまち	19.5	33.8	32.9	8.2	3.0	2.7
基本目標3	⑩一人ひとりが健康づくりや疾病予防に取り組むまち	22.0	36.1	30.7	5.9	2.1	3.1
	⑪安定した医療提供体制のもと 適切な医療が受けられるまち	37.9	29.8	19.8	7.5	3.1	1.9
	⑫住み慣れた地域で 一人ひとりの状態に合った支援を受けられるまち	28.0	29.9	28.6	8.2	2.6	2.6
	⑬地域で支え合い 助け合い 生きがいを持って暮らせるまち	19.4	32.9	33.8	8.4	2.9	2.7
基本目標4	⑭地球にやさしい暮らしに みんなで取り組むまち	19.4	32.7	34.5	7.9	3.0	2.4
	⑮多様な生物と生態系 良好な生活環境を保全していくまち	19.3	33.0	35.6	6.8	2.3	2.8
	⑯資源を有効に活用する できる限りごみを出さないまち	22.6	36.9	28.3	6.9	2.6	2.7
	⑰将来にわたり 良好な水環境を育むまち	36.1	34.8	21.3	4.1	1.5	2.2
基本目標5	⑱新産業と既存産業の融合により ものづくり産業が持続的に発展するまち	23.8	32.8	30.9	6.9	2.7	2.9
	⑲ヒト・モノ・コトがつながり にぎわいがあふれるまち	20.2	30.4	32.6	10.8	3.7	2.3
	⑳富士山の豊かな恵みを活かし 活力ある農林水産業が継続するまち	25.6	33.3	28.8	7.1	2.7	2.6
	㉑中小企業等が地域経済の原動力となり だれもが活躍し続けられるまち	23.5	31.1	31.0	8.9	2.9	2.5
基本目標6	㉒「富士山」の魅力が最大限に活用され 観光交流が進むまち	25.6	30.8	26.4	10.6	4.4	2.3
	㉓魅力や愛着を感じ だれもが住みたくなるまち	27.1	31.7	29.5	7.2	2.8	1.7
	㉔国内外から人々が集い 多彩な交流が生まれるまち	13.2	28.0	39.2	12.0	4.9	2.7
基本目標7	㉕地域特性に応じた 魅力あふれる暮らしやすいまち	21.5	31.8	34.2	7.5	2.7	2.3
	㉖だれもが安全に円滑な移動ができる快適なまち	30.6	25.9	26.5	10.2	4.5	2.3
	㉗富士山が映える景観のもと 花と緑があふれ だれもが安心して住めるまち	30.8	36.3	23.2	5.3	2.3	2.1

問10 「第六次富士市総合計画後期基本計画」の策定に当たり、計画期間中（令和9年度～令和13年度）のまちづくりなどについて、ご要望等がありましたら自由に記入してください。

※回答は、「V 自由意見」（129～151ページ）参照。

II わが家の防災対策・災害時の情報伝達

本市では、「南海トラフ地震」の発生による甚大な被害が想定されており、富士山噴火や近年の台風や大雨においても大きな被害が危惧されています。実際の被害を減らすためには、被害の大きさに不安を募らせるだけではなく、市民一人一人が、日頃からの備えなどの防災対策を行うことが必要になります。

今回の調査では、各家庭や地域における防災対策の実状を把握することで、今後、防災啓発を進めていく上での基礎資料とします。

また、災害情報等をお知らせするための同報無線放送についても、併せてご意見を伺い、今後の運用の参考とします。

問11 「南海トラフ地震臨時情報」について知っていますか。次の中から 1つだけ選んで○をつけてください。n=1,448

- | | | |
|------------------------|------|---------|
| 1 知っている（内容をおおむね理解している） | 56.6 | |
| 2 聞いたことはあるが、内容は知らない | 36.7 | |
| 3 聞いたことがない | 4.3 | 無回答 2.4 |

問12 あなたの自宅では、大地震に備えて「家具・家電の固定」をしていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。n=1,448

1 大部分は固定してある	23.0	⇒問13へ	
2 一部は固定してある	45.0		
3 固定していない	28.6		無回答 3.5

→ 問12で「2 一部は固定してある」「3 固定していない」と答えた人に伺います。

問12-1 「家具・家電の固定」をしていないのは、どのような理由からですか。次の中から主な理由を3つ以内で選んで○をつけてください。n=1,065

1 建物や家具を傷めるから	17.1	
2 固定の方法が分からないから	14.9	
3 費用がかかるから	34.4	
4 手間がかかるから	45.2	
5 家具類を置いていない安全な部屋があるから	23.9	
6 固定をしても被害が出ると思うから	17.4	
7 大きな地震が起こる可能性は低いと思うから	2.1	
8 借家だから	13.8	
9 その他	4.9	
【追加】固定を必要とする家具・家電がないから	2.6	無回答 1.8

■全員に伺います。

問13 あなたの自宅では「非常用備蓄品」として、どのようなものを用意してありますか。次の中から用意してあるものを全て選んで○をつけてください。n=1,448

1 食糧	62.4	2 飲料水	80.5
3 簡易トイレ、携帯トイレ	49.2	4 懐中電灯、ランタン	80.0
5 カセットコンロ	57.0	6 ラジオ	46.2
7 常備薬	42.2	8 トイレットペーパー	58.7
9 生理用品	23.5	10 おむつ	8.8
11 モバイルバッテリー	36.2	12 マスク	59.0
13 手指消毒液	38.3	14 体温計	40.5
15 その他	4.9		
16 用意していない	5.5		無回答 0.7

問14 あなたの自宅では大地震などの災害に備えて、どのような対策を行っていますか。次の中から
行っている対策を全て選んで○をつけてください。n=1,448

- | | | |
|----|---------------------------------------|---------|
| 1 | 災害時の家族の行動について話し合っている | 31.5 |
| 2 | 災害時の家族や親戚との連絡方法を決めている | 15.9 |
| 3 | 災害で家族が離れ離れになった際に、落ち合う場所を決めている | 23.1 |
| 4 | 地震後の火災を防ぐ対策をしている（感震ブレーカーを設置している など） | 9.3 |
| 5 | 自宅やその周辺の危険箇所を把握している | 22.6 |
| 6 | 頭より高い所に重いものを置かないようにしている | 24.9 |
| 7 | ガラスの飛散防止をしている | 7.3 |
| 8 | 自宅にあった危険なブロック塀や石垣、石塀などの撤去を行った | 5.3 |
| 9 | 自宅の危険度をハザードマップなどで確認している | 26.6 |
| 10 | 自宅からの避難先、避難経路を確認している | 38.0 |
| 11 | いつでも避難できるように準備している（枕元などに財布や靴を用意する など） | 10.6 |
| 12 | 風呂やバケツなどに生活用水を確保している | 16.1 |
| 13 | 車やバイクの燃料など、ガソリンや軽油の供給停止に対する準備をしている | 10.3 |
| 14 | その他 | 1.5 |
| 15 | 何もしていない | 16.8 |
| | | 無回答 2.3 |

問15 過去2年間で、地域で行う防災訓練に参加しましたか。次の中から当てはまるものを全て選んで○をつけてください。n=1,448

- | | | | |
|---|------------------------------|------|---------|
| 1 | 総合防災訓練（9月1日またはその前後）に参加した | 31.4 | ⇒問16へ |
| 2 | 地域防災訓練（12月第1日曜日）に参加した | 41.2 | |
| 3 | その他の訓練（津波対策訓練、土砂災害防災訓練）に参加した | 2.4 | |
| 4 | 参加しなかった | 46.3 | 無回答 1.2 |

→ 問15で「4 参加しなかった」と答えた人に伺います。

問15-1 参加しなかった理由は何ですか。次の中からあなたの考えに近いものを1つだけ選んで○をつけてください。n=670

- | | | | | | |
|---|--------------------|------|---|-------------|---------|
| 1 | 防災訓練があることを知らなかったから | 11.8 | 2 | 都合がつかなかったから | 50.7 |
| 3 | 面倒だと感じたから | 8.1 | 4 | 毎回同じ内容だから | 5.8 |
| 5 | 参加してもやることがないから | 3.9 | 6 | 興味が持てないから | 3.1 |
| 7 | どこで実施しているか知らなかったから | 6.7 | | | |
| 8 | その他 | 9.3 | | | 無回答 0.6 |

■全員に伺います。

問16 富士市富士山火山防災マップ（令和6年4月世帯配付）を見たことがありますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。n=1,448

1 見たことがある 68.4	2 見たことはない 29.8	無回答 1.8
----------------	----------------	---------

問17 富士山噴火に関連する言葉について知っているものはありますか。次の中から当てはまるものを全て選んで○をつけてください。n=1,448

1	噴火警戒レベル	62.2	2	避難対象エリア（第1次～第6次）	41.8
3	融雪型火山泥流	11.7	4	降灰	50.6
5	噴火前避難・噴火後避難	12.7	6	知っているものはない	19.1
				無回答	2.7

問18 台風や豪雨などの災害に備えて、確認していることはありますか。次の中から当てはまるものを全て選んで○をつけてください。n=1,448

1	富士市の洪水や土砂災害・内水氾濫のハザードマップ （紙媒体または市のウェブサイトに掲載）を見たことがある	58.3
2	自宅の洪水や土砂災害の危険性を知っている	36.4
3	「マイ・タイムライン※」という言葉を知っている	3.2
4	雨量、川の水位などの情報を調べる方法を知っている	17.9
5	避難情報（避難指示、緊急安全確保など）と一緒に伝達される「警戒レベル」の意味を知っている	33.1
6	台風や豪雨時の避難方法などについて、家族で話し合ったことがある	15.7
7	富士市防災アプリ「防災ふじ」を使っている	18.0
8	避難先を決めている	19.6
9	その他	1.4
		無回答 9.4

※マイ・タイムライン：住民一人ひとりが自分自身で決める「防災行動計画」のこと。災害時にとるべき行動を、時系列的にあらかじめ決めておき、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするもの。

問19 地震等の災害で自宅が損壊した場合、あなたはどこで避難生活を送りますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。n=1,448

1 指定避難所 47.1	2 親戚、知人の家 16.3
3 車中泊 20.2	4 その他 2.4
5 考えていない 10.8	⇒問20へ
	無回答 3.2

▶ 問19で「1 指定避難所」～「4 その他」と答えた人に伺います。

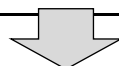
問19-1 その避難先を選んだ理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。n=1,246

1 食糧などの物資がもらえるから 34.6	2 プライバシーを守りたいから 18.3
3 ペットがいるから 11.3	4 周りに迷惑をかけるから 7.2
5 建物の安全性に不安があるから 10.9	6 家族の健康面（感染症予防）に不安があるから 6.2
7 その他 4.6	無回答 6.9

■全員に伺います。

問20 災害発生時や、災害発生のおそれが高まった場合、災害に関する情報をどのような手段で入手しようと思いますか。以下の①～⑨の手段の中から、あなたが使うと思う順番に3つ選択し、回答欄に番号を1つずつ記入してください。n=1,448

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ①屋外のスピーカーからの同報無線放送 | ②富士市防災ラジオからの同報無線放送 |
| ③富士市防災アプリ「防災ふじ」 | ④富士市公式LINE（ライン） |
| ⑤富士市公式X（エックス）（旧Twitter） | ⑥富士市メールサービス |
| ⑦テレビ | ⑧Radio-f（ラジオエフ）などのラジオ放送 |
| ⑨その他（ | ） |



【回答欄】

最も使用するもの				2番目				3番目			
①	32.7	②	6.0	①	21.9	②	11.7	①	15.9	②	8.6
③	7.5	④	21.1	③	10.8	④	20.2	③	8.7	④	11.5
⑤	2.2	⑥	4.1	⑤	2.6	⑥	8.1	⑤	4.0	⑥	8.7
⑦	21.5	⑧	1.2	⑦	16.0	⑧	2.8	⑦	22.3	⑧	6.4
⑨	1.6	無回答	2.2	⑨	0.6	無回答	5.2	⑨	1.9	無回答	12.0

問21 「こちらは広報ふじです」で知られる同報無線放送は、緊急情報以外にも日常生活の中で様々な情報をお知らせしています。あなたの生活において、それぞれの放送内容をどのように感じていますか。あなたのお気持ちに近いものに1つずつ○をつけてください。n=1,448

		ないと困る	ないといえどどちらかと困る	困らないうえどちらかとも	困らなくてもいい	無回答
1	正午の時報	19.1	36.7	26.2	15.1	3.0
2	午後5時の時報	21.5	38.6	23.6	14.5	1.8
3	行方不明者捜索の放送	19.4	38.3	30.0	10.6	1.7
4	行方不明者発見の放送	18.9	36.5	30.0	12.5	2.1
5	不審者情報・子どもの安全対策の呼びかけ（毎月15日）	27.5	41.7	21.2	7.4	2.2
6	交通安全の呼びかけ	16.0	38.7	31.6	11.3	2.3
7	特殊詐欺の注意喚起	23.3	41.9	23.3	9.9	1.6
8	熱中症・食中毒の注意喚起	30.8	43.9	16.3	7.5	1.6

問22 同報無線放送について、あなたが日頃感じていることを自由に記入してください。

※回答は、「V 自由意見」（152～173ページ）参照。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

回答期日は令和7年7月9日（水）です。

郵送回答の場合は、同封の返信用封筒にてご返信ください（切手は不要です）。
お早めにご投函くださいますよう、よろしくお願いいたします。